



# プレーパークニュース

NO. 6

## 「そうりプレーパーク」を見学しました！

- ◆日時 令和4年8月11日(木) 午前10時から正午まで
  - ◆場所 愛知県知多市佐布里台3丁目 101 番地  
佐布里緑と花のふれあい公園内「そうりプレーパーク」
  - ◆プレーパーク実施団体 特定非営利活動法人 しんせいき 新青樹
  - ◆連絡先 0562 - 87 - 0159
  - ◆参加者 大人5人 (市職員 5人)
- ※ 今回、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、市職員のみで訪問しました。

## 「そうりプレーパーク」を運営している方

理事長 竹内より子さん



そうりプレーパークの入口

## 見学会Q & A (抜粋)

今回の目的は、長久手市でプレーパーク事業を推進するにあたり、東海地区のプレーパークの先駆けの一つである「そうりプレーパーク」を見学させていただき、運営状況や資金調達等について実際にお話を伺って勉強させていただこうというものです。

昨年依頼したプレーパークに関するアンケートにお答えをいただいていたので、それを元に深掘りする形で直接お話しを伺いました。



竹内理事長にお話しを伺う

Q1 「そうりプレーパーク」はいつから活動していますか。

A 2006年公園づくりワークショップの中でいろいろな提案がある中、最終的にプレーパーク案が採択され、市からの要望もあり現在の会の設立につながった。当初は、現在プレーパークがある山を平らにして大型遊具を建設する予定だったとのこと。

Q2 立地について教えてください。

A 基本的には市の公園だが、その土地の一部は県の所有となっている。

Q3 利用者数について教えてください。(コロナ前)

A 例年の来園者数およそ12,000人/年

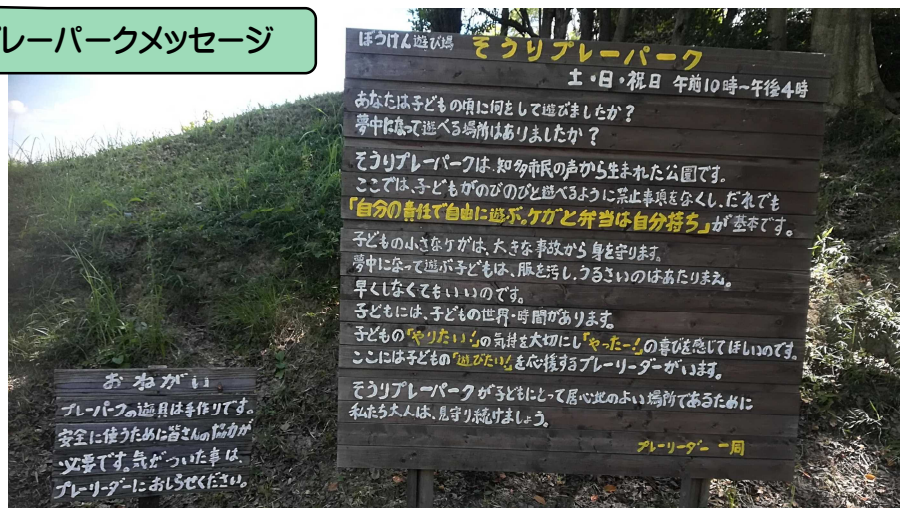
Q4 子どもがプレーパークに来る手段を教えてください。

A 徒歩、自転車、親と自家用車で来ることが多い。毎週末にやっている所は少ないので他県からの参加もある。(毎週土・日・祝に実施)

Q5 プレーリーダーについて教えてください。

A プレーリーダーは、8人いて金曜日は準備1人(2時間)、土曜日は2人、祝日曜日は3人のローテーションで運営している。またプレーリーダーを増やすために、数年に一度プレーリーダー養成研修を行っているが、市外の人参加が多く、受講後には自分の住んでいるエリアで活動することが多い。また、日ごろ参加している保護者の方々は、子育てに忙しい世代なので思うようにプレーリーダーを増やすことができていない。

そうりプレーパークメッセージ



Q6 ケガは子どもや保護者の自己責任と聞いていますが、大きなけがやトラブルは今までありませんか。

A 今まで特にない。発生時は、家族への連絡と病院への付き添いを行うこととしている。

Q7 利用人数について教えてください。

A 概算で夏は30~40人/日、春秋は、100~200人/日

Q8 運営費について教えてください。

A 年間予算約300万円。(毎年ほぼ同額)

内訳としては、ほぼ人件費であり専従職員を一人雇用している。

建物の大きな修理や備品（年間30万円程度）が必要なときは、事前に公園指定管理者に依頼している。（市の担当課は、知多市緑と花の推進課）簡易な工作物や修繕は自分たちで行っている。草刈り等の費用は、指定管理者に依頼して作業してもらっているので費用・労力はかかっていない。

Q9 こだわりやルールなどがあれば教えてください。

A 「自分の責任で自由に遊ぶ、けがと弁当は自分持ち」という基本の元、自己選択→自己決定→自己責任ができる子どもに育ててほしい。  
子どもの見守りを行い、声掛けはするが手は出さない。

Q10 焚き火についてルールはありますか。

A 特にないが、焚き火場は、こども中心の利用ならば可能。  
薪は、公園内で伐採したものや枯れた木を公園管理者が持ってきてくれる。



焚き火場と薪

### 【その他】

- ・ プレーパークは、暴風雨警報以外は実施する。
- ・ （プレーパークは）「教育の場ではなく、体験の場」
- ・ 水・トイレ・電気は必要不可欠（加えて公園駐車場は300台程度が駐車可能）
- ・ 雷や雨天時の避難場所が必要。（そうりプレーパークでは、管理棟（スタッフ用）の他、参加者用に屋内工作小屋や倉庫兼着替え小屋がある。）
- ・ 実施日には、毎回日誌をつけて、指定管理者へ提出している。
- ・ 竹内理事長の思う良いプレーパークとは。  
→ 前提条件として決まったとき（例えば毎週土日祝）に開催していることが大事。他のプレーパークの名前を挙げるとすれば、「たごっ子プレーパーク」（富士市）が良い。「おだいプレーパーク」（愛知県知多郡東浦町）も泥遊びが自由に来て良いプレーパークだと思う。



倉庫兼着替え小屋



水を使った滑り台

## 🌳 見学のまとめ 🌳

長久手市の周辺市町村で、年間200万円以上の予算で運営しているプレーパークは少ないので、とても興味深くお話を伺いました。このNPO 新青樹さんは「そうりプレーパーク」と「おだいプレーパーク」の2件を運営されています。

設備は、水道・電気・トイレ・駐車場が揃っていて、必須設備のプレーパーク小屋は、市の予算で建てられたとのこと。やはり、土地・施設等のハード面は、行政のバックアップが必要と思いました。

また、「子どもたちが行きたいときに行ける場所が大事」という竹内理事長の思いで、毎週土日曜日と祝日の開催になっているとのことでした。

子どもたちは、ブルーシートと水を使った滑り台で何度も滑りとても楽しそうでした。

最後に、話を伺ってプレーパークは「教育の場ではなく、体験の場」という理事長の言葉が耳に残りました。

## 🌳 「そうりプレーパーク」の様子 🌳



## 🌳 「そうりプレーパーク」情報 🌳

- ホームページ URL <http://www.medias.ne.jp/~shinseiki/>
- Eメールアドレス [shinseiki@ma.medias.ne.jp](mailto:shinseiki@ma.medias.ne.jp)

## 🌳 お知らせ 「プレーパークニュース」バックナンバー 🌳

プレーパークについての活動を記録したニュースレター「プレーパークニュース」を市のホームページからご覧いただけます。

[長久手市役所ホームページ](#) > [子育て・教育](#) > [平成こども塾](#) > [プレーパークニュース](#)

【問合せ先】 〒480-1311 長久手市福井 1590-50 長久手市平成こども塾  
☎:0561-64-0045 e-mail:kodomojuku@nagakute.aichi.jp